

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和4年度 第1回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和4年8月1日（月）14:00～16:20
開催場所	三豊市役所 西館大会議室
出席者氏名	山神委員、北川委員、宮崎（勉）委員、草薙委員、前田委員、大矢根委員、秋山委員、柚本委員、佐藤委員、宮崎（和代）委員、高橋委員、石川委員、瀧本委員、小林委員
欠席者氏名	金子委員
事務局職員氏名	市民環境部 横関部長 人権課 西岡課長、河田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員及び事務局自己紹介 5 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3次三豊市男女共同参画プランの令和3年度進捗状況について (2) 令和4年度三豊市男女共同参画関係事業について (3) 第4次三豊市男女参画プラン策定にかかる各種調査について <ol style="list-style-type: none"> ① 市内事業所へのヒアリング調査の結果報告 (4) 「第4次三豊市男女共同参画プラン」策定の方向性について (5) 「第4次三豊市男女参画プラン」策定にかかる今後のスケジュールについて 6 閉 会
配付資料	<p>議題資料1-1 第3次三豊市男女共同参画プランの進捗状況</p> <p>議題資料1-2 第3次三豊市男女共同参画プランに掲げている目標に対する状況（令和3年度実績）</p> <p>議題資料1-3 第3次三豊市男女共同参画プラン施策の具体的取組状況一覧（施策体系別：令和3年度実績）</p> <p>議題資料2 令和4年度の主な男女共同参画関係事業</p> <p>議題資料3 三豊市男女共同参画に関する事業所ヒアリング調査 報告書</p> <p>議題資料4 第4次三豊市男女共同参画プランの重点施策の方向性について</p> <p>議題資料4 参考資料1 第4次三豊市男女共同参画プラン策定の方向性について【現状認識】</p>

<p>配付資料</p>	<p>議題資料 4 参考資料 2 数字で見る男女共同参画を取り巻く現状 議題資料 5 「第 4 次三豊市男女共同参画プラン」策定にかかる今後のスケジュールについて 参考資料 1 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 委員名簿 参考資料 2 三豊市の男女共同参画の推進体制 参考資料 3 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 設置条例 次第、「第 3 次三豊市男女共同参画プラン」冊子、「第 3 次三豊市男女共同参画プラン」ダイジェスト版</p>
<p>その他</p>	<p>農林水産課、介護保険課、産業政策課、人権課、秘書課、危機管理課、学校教育課、子育て支援課、福祉課、保育幼稚園課 各担当者出席</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者確認 ・委嘱状交付 ・市長挨拶
各委員、事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長選出（山神会長、北川副会長）
山神会長、北川副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について説明
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（１）第３次三豊市男女共同参画プランの令和３年度進捗状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料確認 ・議題資料１－１、１－２、１－３説明
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料１－３のNo. 6について、このところ１団体１０万円ということで３団体に補助金が交付された。どのように活用されているのか、昨年度の例で紹介してもらいたい。 ・補助金制度は始まったばかりで、活動がなかなか進まない面もあると思うが、ある程度実績ができれば、活動内容を公に知らせてもらえると、よりPRになるのではないかと。今後考えてもらいたい。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・まず補助金交付について、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度については、当初１０万円×３団体でした。しかし企業に飛び込み営業を行ったものの、社内研修などをしてもらえなかった関係で、１団体のみ申請となりました。 ・内容は、性の多様性に悩んでいる家族や子どもがいたとき、どのように指導していけばよいか分からないので、スポーツ少年団の保護者会で学びたいということで、当事者団体に来てもらって研修を行う予定でした。しかし新型コロナウイルス感染症の流行で、当事者団体より「今は行かないほうがよいのではないか」との申し出があったため、私が行いました。その後は保護者会でおそろいのTシャツにレインボーのマークを入れて、私たちは理解を示しているというPRをしてもらっています。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・公表はしていないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・していませんでした。やっていることの宣伝が不足していたと反省しています。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同No. 32について、女性委員の比率の目標３０％に対して２３．２％となっている。まだ一人もいない委員会はあるのか。あるとすれば、どの委員会なのか。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・過去には防災会議でありました。 ・各団体の会長や委員長に集ってもらって審議会等をしますが、各団体の長が女性でないことが数字の上がらない理由としてあります。そういったこともあり、各団体のリーダーや長に女性を増やしてもらうよう話していますが、上がらないのが実情です。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どの委員会かは分からないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今は分かりません。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・後で教えてもらいたい。 ・同 No. 33 について、市役所の男性の育児休業取得率は 36.4%か。
人権課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の取得率は、後ほど説明します。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同 No. 34 について、副主任から課長補佐級の女性職員を対象に「女性リーダー養成研修」を行ったとあるが、なぜ課長はないのか。継続的にやってもらいたいし、女性課長も入れてもらいたい。
人権課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・この研修は、まだ管理職になっていない職員を対象に実施していました。女性職員から「あまり自信を持っていない」という声をよく聞いたので、将来的に課長を目指すよう行っています。課長職については、フォローアップが必要と思っているので、今後検討したいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあれば伺いたい。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から成年の年齢が 18 歳になり、高校 3 年生が成人となる。高校生をしっかりと高校時代に育てておくことが今後重要になってくると思う。 ・議題資料 1－3 No. 14 をみると、学生 1 名の参加に留まっている。インターンシップ協定を今年度も締結しているが、三豊市内の四国学院大学の高校以外の一般の高校にどのくらい案内をしているのか。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと高校生を対象にしていたか。
子育て支援課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ協定は四国学院大学と締結しているもので、四国学院大学を対象としています。高校生を対象としていません。 ・放課後児童クラブの支援員に大学生の力を借りるので、協定を結んでいますが、集まっていない状況です。四国学院大学の先生方にも協力してもらっています。
北川副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に来ることはある。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・言いたいのは、とにかく高校生を育てないといけないことだ。四国学院大学だけに高校生が行くわけではないので、対象を少しずつでも広げていけないか。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を高校生に広げることについてはどうか。
子育て支援課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの支援員の立場で体験してもらう、将来、先生として子どもたちを育てる体験をしてもらうものです。現状、高校生は考えておりません。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 14 は、将来先生となる大学生にインターンシップとして協力をお願いしたという項目ということだ。 ・意識の改革について、高校生対象に今やっていることがあるのか。今後、意識の改革のほかの部分で高校生を対象にするのはどうか。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援課に願います。教師を目指して大学に進みたい生徒は、四国学院大学への進学を希望する生徒だけではない。同じ市民であれば、こういうことをしていることをLINEやフェイスブックで声を掛ければ集まるかもしれない。なぜ全体の高校に声を掛けられないのか教えてもらいたい。
子育て支援課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 14 は地域の大学と連携した男女共同参画の推進ということで評価をしています。今後は関係各課で協議し、進めていけるような形を考えていきたいと思えます。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同 No. 89 は新型コロナウイルス感染症で中止という残念なことになった。しかし若い人はネットで顔を合わせて飲み会する時代になっているので、直接会うのは難しくても、ネットでの集まりを応援すると、令和4年度は実施できるかなと思う。私たちの年代はやり方が分からないし、機器を十分使いこなせないが、教えてもらえると簡単にできる。そうして実施状況が×から△、◎になるといい。これからの時代を考えて進めてもらえると嬉しい。 ・議題資料1-2について、前回も思ったが、見る値が下がったほうがよいものと上がったほうがよいものが入り混じっている。分かりにくいと思うので、新しくするのなら文章表現を工夫して、全部上がるか下がるにしたほうが見やすい。上がるほうがよいかもしれない。例えば No. 1 の文章を「男女共同参画社会の言葉を知っている市民の割合を増やします。」にする、No. 3 は「男性は仕事、女性は家庭という考え方を望まないとする市民の意識の割合を増やします。」に、No. 9 は「仕事優先だけではなく、家庭生活や地域活動にも携わる市民の割合を増やします。」といった感じだ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次のプランはこれから作っていくので、項目の内容自体が変わっていくのかというのがあります。目標数値の統一については、可能な限り工夫したいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ目はテレワークを推進しようという時代にもなっているので、交流会は可能ならオンラインといった工夫をとるという提案だった。 ・二つ目は言葉の使い方についてだった。全てが踏襲されるかは別としての提案だった。 ・その他にあれば伺いたい。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響については同じようなことがいくつかある。議題資料1-3のNo. 9、No. 84、No. 85、No. 91、No. 148 などだ。中止にする際は課内で議論があったのか。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催中止に当たっての判断などについての質問だった。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 9は、役員会の中で十分に協議しました。コロナ禍でもあえてするほうがよいか、もう少し様子を見たほうがよいかの判断の下でした。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体含めて慎重に判断したということだ。
農林水産課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 84、No. 85、No. 89は主催者ではなく、参加する側、参加を促す立場でした。主催者が決定しました。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・逆にコロナ禍だったが、工夫して開催したという事例はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人数の問題があり、大きな講演会は計画しても難しいということで、No. 22では小さなものを2回、昨年度実施しました。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナの時代なので、三豊市が主催するものについては、できないから中止ではなく、どうやればいいのかという方向にしてもらいたい。学校もどうやれば行事に子どもたちが参加できるかという方向で考えていると思うので、考えてもらいたい。 ・講演会もリモートでできるのなら、子育てや介護などで家から出られない人も合間に聞くことができる。いろいろな方向から皆ができるようにしてもらいたい。 ・周知が難しいと思う。三豊市のホームページは、興味を持っている人しか行かないので、そうでない人にも目に映るような方法や若い人向けの広報の仕方などを考えてもらおうとよい。 ・三豊市のホームページは使いにくい。検索しようと思ってもなかなかヒットしないことがある。どこを見たら分かるのかと思うことがあるので、考えてもらいたい。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・香川大学の広報室長なのでホームページやSNSなどもしているが、対象をどうするのか、どう使われるのか、どう入れば入りやすいかなどある。事務局も苦慮していると思うが、そういう要望があったので、広報的によりよいものにしてもらいたい。 ・項目がたくさんあり、連携しているものもたくさんある。8市9町あるので苦労も多いと思う。意見を踏まえて、改善をお願いしたい。 ・続いて議事（2）令和4年度三豊市男女共同参画関係事業について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料2説明
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・①進捗状況調査は後ほどあるが、参考にしてもらいたい。後は関係事業として7項目あり、その中には提案があったものが反映されるものもあると思う。何か質問や意見があれば伺いたい。 ・なければ議事（3）第4次三豊市男女参画プラン策定にかかる各種調査について、説明願いたい。

議事内容（要旨）	
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料3説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・20社中17社が協力して13項目について答えてくれた。質問があれば伺いたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・17社のヒアリングは大変だったと思う。 ・それぞれ会社の実情について回答されているが、項目別に羅列するというのはいかが。第一段階だと思うが、これを分析して何が出てくるかが重要だ。分析して課題を見つけ出し、課題をプランに反映することがヒアリングの分析だと思う。問13は異質なので、羅列して挙げるができると思うが、ほかの12問は課題が出てくるような分析をしてほしいと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・数値で分かるような分析や業種ごと、従業員数別というのはしているのか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の報告は全意見を見せるという意味で、羅列になっています。分析を含めて、今後の計画に生かしていきたいと思います。 ・ヒアリングの前に、事業所にアンケートを実施しました。こちらは統計的に分析をしています。ヒアリングも傾向を分析します。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のヒアリング調査は第4次に生かしていくためのものということだ。調査結果があれば、具体的な意見が委員から出る可能性が出るということだと思うので、第4次に生かせるような調査結果と結論が見える形にしてもらいたい。 ・事務局には考察結果も出しているのか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ考察結果は出していません。実施の報告という形になっています。 ・課題を整理して作成したいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールに合わせた形で出してもらえたらと思う。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査も行われたとのことだが、因果関係みたいなものも調査すべきだと思った。前回、北川副会長からも話があったが、因果関係を知ることで三豊市ならではの課題や課題を見えてくるのではないか。そのあたりをしっかりと分析してもらいたい。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・3種類のアンケートを実施し、昨年度末の委員会で説明をしましたが、事業所ヒアリングだけ後から調査したので、本日の報告になりました。3種類のアンケートと今回のヒアリングの結果をまとめて串刺しにし、現状と課題を計画の策定に生かしていきたいと思います。 ・本日、現状と課題の説明を考えていましたが、今回は取組の報告がメインとのことでした。次回までには整理をしたものをと考えています。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの報告と、このヒアリング結果を合わせて、数値的な傾向や因果関係を分析した形で、現状と課題や何か提案してもらえるようなものがあれば出してくれる。次回の会議は10月なので、分析結果を反映した形で骨子案ができてくる。分析結果の全体を事前に私たちは見ることはできないが、事務局は参考にして骨子案を作る。それを私たちは見て意見を出すということによいか。そのときにはアンケート結果等を含めた資料も一緒に出してもらえると、意見を出せるのでそうしてもらいたい。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> これだけ別枠で作ってもらって感謝する。事業所内の様子が細かく分かり、女性は体力が厳しい中でも頑張っている、おなかが大きくなると辞めないといけない厳しい状態、男性も自分の親と同居しておらず遠く離れていると、介護休暇を取れずに有休を使って病院の送迎をしているのが見られる。素晴らしい調査をしてもらったと思っている。 女性の管理職について、17社の中で3社がいなかったとことだが、それぞれの会社に何名管理職がいて、その内何名が女性管理職だという調査は行われているのか。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> 事前にも書いてもらったヒアリングシートには、男女別の管理職等の人数が記載されています。次回に報告します。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業はどこも厳しいと思うが、女性管理職が4割になっていくことを目指していきたいと思うので、データがあれば見せてもらいたい。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から新しい委員になった人もいますので補足します。昨年度の事業所アンケート結果には女性の管理職の割合を細かく掲載しているので、確認してもらいたいと思います。次回改めて課題として提示したいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> これまでたくさんの調査をしている。全体な傾向が分かったということで貴重なヒアリングだったと思う。考察的なものを含めて提示してもらいたいと思う。 続いて議事(4)「第4次三豊市男女共同参画プラン」策定の方向性について、事務局より説明願いたい。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> 議題資料4(参考資料含む)説明
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 補足説明
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> 議題資料4の3ページにある「DXの推進」とは何か。またDXは何の略か。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ICTやAI技術を活用してまちづくりを進めていくための取組と理解してもらえたらと思います。 デジタルトランスフォーメーションの略です。参考資料に説明を入れています。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> その他にあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策に人権がないのはどうなのか。 性的マイノリティ、生きづらさを抱えて生まれた人など市民全員が生きやすい世の中にするためなのに、マイノリティの意見が聞こえてこない。私は3期目だが、これまでもそういう声が聞こえていない。意見を取っても、マイノリティの意見は少数なので出てこない。市民のアンケートを基にするのはよいが、そこに出てこない少数者の意見も入れていかないと、市民全員が安心して暮らせる三豊市にならないと思っている。意見を取り入れるのは難しいと思うが、当事者や生きづらさを抱えて生まれてきた子どもの保護者、教育者などの声も入れてもらいたい。 子育てについては企業や親の意見ばかり出てくる。介護もそうだが、当事者側がどう思っているかも考えていかないといけない。働きやすい社会はいいが、子どもがきちんと育てていかないといけない。親の気持ち、働く側の思いだけで計画を決めてしまうと、当事者側の意見が入ってこない。本当に男女共同参画なのかと思う。 親が働くので、子どもを長い間預けていけばいいという考え方ではなく、企業もどうやったら子育てできるか、キャリアと子どもの思いが両立するような働き方が必要になってくると思うので、そこを忘れず計画を作ってもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティに関しては、市長自ら先頭に立ってやっていることなので、プランの中に記載しなくても必ずやります。 次の5年間で特に何をするか、何を目標に動いて取り組んでいくのかを書いていきたいので、書いていないからやらない、ということではないことを理解してもらえたらと思います。 働きやすい社会については、私も企業アンケートの中で疑問に思っており、今後分析の中で進めていかないといけないところです。「女性が働けばいい」という回答が多くみられ「こうすれば女性が働ける」と、働くことが目標になっています。そうではなく、より自分の活躍したい働き方に目標を置くべきなのに、子どもを預けながら働けるなど、単純な、どうやったら働けるかになっているので、もう少し深掘りしたいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> マイノリティの意見も踏まえながらということだった。
瀧本委員	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果からも働き方や学校での教育、虐待が出ているが、重点施策3番の教育に少し違和感的なものがある。それよりも社会に出てからの若い人たちの生きづらさが問題になっている。大きく言えば生涯教育にもなるが、やはり人権という括りがあったほうがよい。これまでを踏襲するのもかもしれないが、そう感じた。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 人権というワードを重点施策に入れるということか。 まだ発言のない委員で何かあれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
宮崎（和）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の話が出ているが、保育園に預けたときから男女が一緒になるような、例えば女性の保育士がほとんどなので男性を増やすなどすれば、子どもはどちらが見てもよいという感覚が育つような気がする。男性の雇用を増やすなどして、物心つくかどうかの年齢から男女が平等なことを育てていけば広がって、ゆくゆくは平等な社会が訪れるような気がする。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育のことだが、担当部署として何かあるか。
保育幼稚園課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・男性保育士や幼稚園教諭は何名かいます。 ・男女平等については、幼稚園や保育所でも小さな子どもから自然に学べるように常に研究しています。小さな子どもは大人の背中を見て育っているので、身近な大人がまず教育していくというのが大事だと思っています。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・実質は少ないが、採用時もそういった視点を踏まえて行っているということか。
保育幼稚園課担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・採用方法は分かりませんが、応募されたなら採用されていると思います。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校はどうか。
宮崎（勉）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・45年前、私が子どもの頃は児童会長や生徒会長は男子が普通で、女子が会長になるとうわさになる時代だった。今は会長や役員が男子でも女子でも話題になることがなくなったので、学校現場は前に進んだと思っている。 ・一昔前に言われていた名簿も、男女混合名簿になり、それが普通となっている。 ・唯一あるのがランドセルで、男子は黒、女子は赤というのはある。その割合が減って中間色が増えているものの、特に男子は黒というのがある。ただそれは差別ではなく、好みの問題だと思っている。 ・小学校や中学校は、男子だから女子だからというのが少なくなっていると思っている。給食の配膳についても、一昔前は運ぶのは男子、つぎ分けるのが女子だったが、今はほとんどなくなっている気がする。牛乳瓶といった特別重いものは男子が運んでいるが、子どもたちはそういう世界で9年間過ごしているので、私が子ども時代よりも明らかに良い方に進んでいる。 ・ただ教育現場では気付かない問題点もあるので、そういう面では危機感を持って接しないといけないと思っている。
山神会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・人権という言葉はどうするか。教育等を通じた男女の意識改革・理解の促進が重点施策の3番目になっている。人権という言葉で出すよりも多様性のほうが大きく出ている。「ダイバーシティ」という言葉も一般化しており、人権を含めた考え方なので「多様性」「ダイバーシティ」という言葉を何らかの形で3番目に組み込むかどうかだ。 ・キーワードについて、どの施策についても絶対的なのは「持続可能な施策に対する取組」が大事だと思う。持続可能であるような取組内容についても集約したり、加筆したりしながら出していくので、第3次の結果を踏まえて持続可能な施策、具体的な内容を踏まえて作ってもらいたい。

議事内容（要旨）	
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> 直接的な質問ではないが、第4次プランは第3次のイメージでよいか。第3次から継続するものもあるし、新しく入るものもあるという考え方でよいか。大きな項目から細分化されて小さな項目も出てくると思うが、イメージとしてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にはこれからですが、なぜこのプランを作るのかからスタートし、では特に何をするのかということで重点施策3つになりました。そこから具体的にやっていくものを作っていくのですが、今回170あまりあるものをもう少し減らして、次の5年間では特にこれをやるというのをプランにまとめようと考えています。個別の事業数は減りますが、構成としては第3次から引き継がないといけないものはあります。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> その他にあれば伺いたい。 なければ、議事(5)「第4次三豊市男女参画プラン」策定にかかる今後のスケジュールについて、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 議題資料5説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> この協議会はプラン作りをはじめ、施策、指標の評価や実効性を高めるための提言を行う。目的に沿って、意見を願いたい。
北川副会長	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策は大事だと思う。基本理念があり、それに沿って目標があって施策があるという順番の中で重点施策という感じだったが、今回は方向性としてこういう風なことがあるという認識だった。 人権という言葉は表現の中に入れたほうが理解はしやすいと思う。多少長くなるかもしれないがあったほうがよいと思った。 前回の途中から参加しているので、業者が入ってきちんと細かく分析していることはすごいと思った。計算して終わりというイメージだが、分析まで詳しくしている点は強みだと思うので、分析や考察の段階では行政と一緒にいろいろな考えていく必要があると感じた。協力できることがあればする。皆が協力し合ってきたらと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> これで協議会を終了する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 閉会

以上